

第3回 県立都市公園のあり方検討会 播磨中央公園部会
公園利用者へのヒアリング 議事要旨

1 日時 令和5年2月7日（火）10:00～13:00

2 場所 やしろ国際学習塾 中会議室

3 出席者

小南部会長、新保副部長、伊藤委員、阿江俊英委員、足立委員、小田委員、岸本委員、内藤委員、藤井委員、吉田委員、阿江孝仁委員、小野委員、柳田委員、北川委員、野崎委員

4 ヒアリングのテーマ

播磨中央公園における自然環境保全・活性化

5 意見概要

(1) 藤井 博之（河高地区役員会） 加東市

- ・ファンタジーロードの南側に隣接する未利用地に農業用施設や防火に使う水路があるが、ここを眺望ゾーン、写生ゾーン、ビオトープゾーンなど地域資源共存区域として活用してほしい。
- ・保全ゾーンに囲まれた皿池は、オシドリの冬場の生息地で、隠れたスポットとしてバードウォッチングやフォトグラファーの撮影の場所になっているため、和田ヶ池、八幡池と共に自然環境を保ってほしい。
- ・和田ヶ池の噴水施設など老朽化施設や、遊歩道と散策路で使用禁止になっている木製階段などを撤去して、自然環境を取り戻してはどうか。
- ・展望台は、兵庫百山の雄岡山、雌岡山、明石海峡大橋の主塔、六甲山系などが眺望できる場所であるのでそういったものを活かして利活用できればよい。
- ・SDGs、収益、集客に向けての取組として、伐採樹木のまき割り販売などを行ってはどうか。
- ・AR（拡張現実）を活用したスタンプラリー、散歩、ウォーキング、ランニングなどにより集客を図ってはどうか。
- ・3つの池と未利用地区を活用し、河高地区と播磨中央公園が継続して存続できるようにしてほしい。

◇意見交換

○内藤委員

ビオトープ、池の保全、ARの活用などについて言われたが、自然環境を生かすこ

とを重点としているのか。

○藤井博之

播磨中央公園が成り立つために、SDGs、収益、集客は必要だが、別問題として考えてほしい。播磨中央公園でのイノシシ被害が放置されたままで、3つの池の周囲や未利用地はイノシシの巣になっていると聞くので、ここを利活用してはどうか。

○阿江俊英委員

前回の部会で意見させていただいたが、播磨中央公園と接している上滝野、光明寺、下滝野、河高の地域と、最低でも2年に1回は情報交換会を開き話し合いながら進めなければならないと改めて確信した。

○内藤委員

ゾーニング図を見ると、提案があったところには、山、池、平地があり、たいへんよい場所なので提案に賛同する。

○藤井博之

ファンタジーロードと油谷川を挟んだところが利活用されておらず、イノシシの巣と言われている場所だが、和田ヶ池を含め自然環境を生かして教育ゾーンにしてはどうか。

○新保委員

フォトグラファーはどのくらい来ているのか。

○藤井博之

皿池は冬季にオシドリの生息地になっており、冬のオシドリの雄は大変きれいなためそれを見に来る人がいる。また保全ゾーンに囲まれており、遊歩道しか歩けないのでそこでカメラを構えている。天気のよい平日に1人か2人来ている。

この辺は、地区の農業用水や防火用水の施設があるので、保全ゾーンを守りながら使っていければよい。

○小南部会長

以前、播磨中央公園で野鳥のフォトグラフコンテストがあったと記憶するが、そういうこともやってはどうか。

○藤井博之

ばら園の中でそういうことをやっていた。

○阿江俊英委員

和田ヶ池は河川と通じているが保全管理の作業はどのように行っているのか。

○藤井博之

洪水吐から出る水を導水路に流し込んでおり、水路は河高地区を南北に縦断している。

○阿江俊英委員

1年に1回ぐらい作業をしているのか。

○藤井博之

河高地区にため池が11か所あるので、11年に1回、早ければ7年に1回か2回、水を抜いて泥さらいをしている。水路周辺の草刈り等は毎年やっている。

○阿江俊英委員

洪水吐を開けると川になり、閉めると池になるということか。

○藤井博之

洪水吐から出た水を緩い勾配の導水路で河高地区に防火用水として流している。

○小南部会長

接する地域との意思疎通を図りながら、河高地区でできることを提案していただきたい。

(2) 植村 千奈美 加西市

- ・森のくまさんの跡地利用について、一般的なカフェなどではなく庶民的で地元根差した施設がよい。地域の方が交代で週末ごとに出店して低価格商品を提供するのはどうか。
- ・播磨中央公園には中心的拠点になる施設や屋内スペースがないので、どこに行けばよいのかわからない。駐車場から近い森のくまさんの跡地に屋内拠点を設け、案内や掲示、休憩等の場所として利用できれば便利である。
- ・1階はカフェスペース、2階は眺望を生かしたウッドテラスにすれば、桜の花見スポット、大池が眺められる場所など絶好のビューポイントになる。
- ・四季の森の利用者が少ない。ファンタジーロードから城までは行くが、その先まで足を運ばない。四季の庭は手の込んだ建造物あるので、見てもらったほうがよい。四季の庭の利用者を増やすため、和田ヶ池周辺に5月、6月に紫陽花園等目玉になるものを設けてはどうか。
- ・皿池周辺も素敵なので、撮影スポットの位置、花や鳥のことをマップに記載してはどうか。
- ・城の近くは殺風景なので、鐘を設置してカップルに鳴らしてもらおう等もよいのではないか。
- ・若者向けにインスタキャンペーンを行うほか、若者が虹の橋を撮りたくなるように塗り替えを行ってはどうか。
- ・石室古墳をもっとアピールすべきである。

◇意見交換

○小田委員

休憩や飲食のできる場所があればよいと考える。

提案に似たものとして、個人が使用料を払う日替わりシェフによる運営も考えられるのではないか。企業等を誘致しなくても実施できる。古墳のアピールについて

は同感である。

○吉田委員

森のくまさんの跡地を活用して拠点をつくり、播磨中央公園に来る市民各層の活動や集まりの場にするのは賛成である。新しいものを作るのではなく既存の施設を利用するのは良いと考える。

○阿江俊英委員

森のくまさんの跡地活用については、全くそのとおりである。

虹の橋の塗り替えについては、工事をより丁寧にすることが大切と考える。

○内藤委員

店については、有機農産物を中心に売ってはどうか。

○植村

賛成である。外国資本やチェーン店が入るのではなく、地域住民や賛同者がつくり上げる公園という方向がよいと思う。

○小南部会長

ボランティア的な形でやるとしても、集めるのが大変なので、熱い思いを持つ方に音頭を取ってもらいたい。

(3) 宇野 陽介 伊丹市

- ・当時、練習の仕方も場所も分からないまま自転車を買って練習するという経験をした。今の若い世代の子ども達はオリンピックを目指して競技として自転車に取り組んでいるので、練習できる場所をつくってほしい。騒音の心配などもあるが、練習場所がないことが一番の問題である。
- ・播磨中央公園にBMXコースやスケートパークができて、県外からも練習に来られるような拠点になれば、観光資源としても活用できるのではないかな。
- ・競技において世界チャンピオンの経歴あり

◇意見交換

○新保委員

環境が整った練習場所であればどのくらい遠方の方まで通ってくると想定しているのか。

○宇野

播磨中央公園の隣接地に民間経営の練習施設が半年前にオープンしたが、全国各地からライダーが練習に来ている。海外からも注目されており、訪れたいというメールも来ている。そのため、ある程度精度のよい施設であれば全国各地から来ると考える。

○新保委員

要求される水準はあるのか。

○宇野

スケートボードパークは県内でかなりオープンしており、三木市にもある。

スケートボードとBMXのコースは見た目が似ているが、BMXはジャンプしなければならないので長さが必要になる。スケートボードはアールという湾曲部分が多数あるほうがよい。播磨中央公園の発表資料を見ると、世界大会もできるような敷地はある。

2026年にスケートボード競技のアジア大会が愛知県で開かれるが、BMXフリースタイル競技の開催地は発表されていないので、播磨中央公園へ誘致する動きを見せればチャンスがあるのではないか。

○新保委員

未来に向けて夢のある話である。

○内藤委員

フィールドはどの程度の広さが必要か。現在の競技人口はどれぐらいか。スケートボードは騒音の問題があるが、コースを多目的に使えるのか。公園を使うという意味についても聞かせてほしい。

○宇野

BMXの競技は、順位を競うレースとフリースタイルに分かれる。

レースは数台の自転車が走れる大きなコースが必要で、土のコースと舗装されたアスファルトのコースがある。

フリースタイルに関してはジャンプ台を使うパークがオリンピック種目になっている。もう1つのフラットランドは平らな地面で行う競技で、15メートル×15メートルの広さがあれば世界大会を誘致できる。フラットランドはフロアの硬さや素材など細かい規定はまだない。

○内藤委員

公認が取れるようなものにしたいか。

○宇野

はい。

○小南部会長

競技人口はどうか。

○宇野

どこまでを競技と捉えるかということがあるので難しいが、競技用自転車の販売台数は全国で年間1万台以上となっている。

BMXがオリンピック競技になったのは、このようにビジネスとして発展したことが理由。競技だけではなくビジネスの面でも大きな可能性があるのではないか。

今後の競技人口について心配されているかもしれないが、オリンピックになる程世界的に大きく増えているのであまり心配の必要はないと考える。

○藤井博之

三木市のスケートボードパークの立ち上げに関与した。その際の経験として様々な意見をまとめられるレジェンド的な方がいるとやりやすいがそういった方はいるか。

○宇野

UCI（国際自転車競技連合）にBMX関連団体も入っており、そのメンバーや私が参加することも可能である。

○小南部会長

宇野さんは世界チャンピオンなのでカリスマと言える。

○藤井（博）

失礼だが、BMXの世界では有名なのか。取りまとめができる方がいないと前に進まない。

○宇野

有名ではないが、堀米雄斗、中村輪夢と全国各地でパフォーマンスをしている。

※堀米雄斗：東京五輪スケートボード男子ストリート金メダリスト

※中村輪夢：東京五輪BMXフリースタイル5位

全日本選手権BMXフリースタイル・パーク優勝

（４）陰山 一雄（河高八幡神社総代） 加東市

- ・案では八幡神社の敷地の北にマウンテンバイクのコースが設定されているが、八幡神社の行事は敷地内だけで行うのではないのでこのコース設定について懸念している。
- ・行事をつかさどるメンバーも疑問に思っている。
- ・県からのヒアリングを受けたが、今後どうなるか心配である。
- ・八幡神社の重要な行事に厄神祭があり、その際に行われる賽銭投げが伝統として残っているがそれがどうなるか。
- ・岩場や毘沙門天石棺仏など由緒のあるところはできるだけ残してほしい。
- ・公園での新しい取組は必要だが、先祖代々守ってきて、河高地区の人に愛されている行事や伝統、由緒のある場所とマウンテンバイクのコースの兼ね合いを考えてほしい。

◇意見交換

○阿江俊英委員

八幡神社の敷地は河高地区のものか。

○陰山

八幡神社という宗教法人のものである。

○阿江俊英委員

岩は誰が所有しているのか。

○陰山

県が所有している。

○阿江俊英委員

賽銭投げは、県が所有しているところを使っているのか。

○陰山

そうである。我々が何かをするときは許可を得ている。参道整備のときも許可を取っている。

○阿江俊英委員

岩の上を使うのに県との契約はあるか。

○陰山

分からない。

○阿江俊英委員

それはおかしい。

○陰山

利用権を確認したが、不明確である。

○阿江俊英委員

池については契約があるはずである。

○陰山

県に問い合わせなければ分からない。

○阿江俊英委員

水利権などについて契約しているはずである。

○陰山

池の管理は河高地区でやっている。

○阿江俊英委員

何らかの決め事があるはずである。

○陰山

どういうことが交わされたか分からないが、公的な文書の中で何かの権利があるというものはない。

○阿江俊英委員

契約もなしに勝手に使えるわけではないので、一度調べたらよい。

○岸本委員

珍しい祭りなので、県も考慮してぜひ存続し、伝統を継承してほしい。

○陰山

県の公園と八幡神社がタイアップできればよい。岩は我々の信仰の中にあるが、所有権のことは何も考えていない。

○阿江俊英委員

話合いが大事である。

○内藤委員

厄神の場合、ご神体は岩に宿るので、岩から投げる賽銭は神の授け物という意味があると考えます。あの行事はぜひ続けてほしい。公園の中にある開かれた厄神として共存共栄し、神社を生かした活用ができればよい。

○陰山

皆さんの意見を聞きながら、河高地区だけではなく広げていきたい。

(5) 藤井 すもも (県立社高等学校) 加東市

- ・子どもや家族を対象にものづくり体験ができるイベントを開催してはどうか。
- ・こいのぼりの染色体験をして、そこから加東市に対する興味が湧いた。このような体験を通して特産品のこいのぼりについて知れたので、とても印象に残っている。そのため、子どもたちが体験学習を通じて日本の伝統工芸品に触れることによって興味を持ち、伝統をつなぐきっかけとなるイベントができればよい。
- ・子どもの森付近は楽しく遊べるが、飲食物がないので長い時間はいられない。そこに飲み物などの自動販売機やキッチンカーがあれば一日中遊べて、ものづくり体験などのイベントにも参加してもらえる。

◇意見交換

○小南部会長

出身はどこか。

○藤井すもも

加東市である。

○内藤委員

伝えるべき民俗行事や昔の産業を思い出せるイベントを計画するのは大事である。若い方が一日中不便なしに過ごせる公園にしたい。今後も関心を持ってほしい。

○岸本委員

ものづくり体験はよいことである。

加東市観光協会に協力してもらい、こいのぼりだけでなくそろばん、手織りによる織物等、北播磨全体の伝統工芸に係る取組を行ってはどうか。そこにキッチンカーが来ればにぎわうのではないか。

○阿江孝仁委員

3人の高校生の参加はありがたい。加東市観光協会として全面的にバックアップしたい。3人の提案について、実現のために委員も観光協会も汗をかかなければならない。未使用のスペースを工作室やキッチンとして使うのもよいのではないか。

○吉田委員

ばら園が有料のとき、バラ栽培の講習会や子ども向けイベントをやっていた場所があるので、やる意欲があれば観光協会のバックアップによってすぐできる。

地域のものづくりの体験と里山やSDGsなどを関連づけていければ、我々が目指す播磨中央公園のイベントになるので考えていきたい。

○内藤委員

播磨中央公園は北播磨5市1町のアピールの場であることも視野に入れる必要があるのではないか。

(6) 三原 ひなた（県立社高等学校） 加東市

- ・ペット好きな人が関心を持つようなペットイベントの実施を提案する。
- ・ペット可の播磨中央公園では、子ども連れの利用者のほか、ペットを連れて散歩している方が多いと感じる。ペット連れの利用者に興味を持ってもらうのが狙いである。
- ・ペットグッズの販売、飲食の屋台を設置、ペットと一緒に食事を楽しめるスペースの設置、日にち限定のドッグランの設置などによって利用が増えるのではないか。
- ・イベントの際のアンケートで好評であれば、限定ではないものを設置を考えてもよいのではないか。

◇意見交換

○阿江俊英

提案に大賛成である。以前、森のくまさんの池側に犬を連れて飼い主が集まっていた。その際ドッグランが欲しいとの声が多かったが、管理運営協議会で話題にできず実現しなかった。今がよいチャンスであると考えます。

ただ、糞の処理という衛生管理上の問題があり、平成20年頃には、所長、有志の方、職員で回って処理した。そういうことも考えなければならない。

○伊藤委員

ドッグランの設置場所について具体的なアイデアはあるか。

○三原

テニスコート跡はどうか。

○伊藤委員

アメリカの研究ではペットを飼っている人のほうが体を動かす機会が多いことが分かっており、日本でもペットと一緒に遊べる公園の存在が貴重になる。提案は今後の播磨中央公園にとってよいアイデアになる。

○吉田委員

ペットを飼っている人が多いので、よい提案である。以前、糞の問題はあったが

ペット協会や動物病院などとタイアップイベントの際に正しい飼い方や後始末、公園のルールなどを教えることができればよい。そういうタイアップができれば意味のあるものができる。

○小田委員

スイスではハイキングコースに糞ポストがあって、そこに入れて帰るようになっている。

○内藤委員

犬を連れて公園内のコースを歩くことで犬の臭いが残ればイノシシや鹿は来なくなるのではないか。

○新保委員

小田委員の意見について外国ではゴミ箱などがないとそこら辺に捨ててしまうのでそういう配慮がされている。日本はゴミを持ち帰る文化があるので設置されていないが、もう少し配慮があってもよい。外国では糞を残すと罰金という掲示もあるなど、厳しくやらないと取り締まれないと考えているのではないか。

ペット連れの公園利用者が増えているが、東京都豊島区の防災公園では、芝生の一角に犬を遊ばせてよいゾーンがある。そのような例もあるので、やろうと思えばできる。

○阿江孝仁委員

播州清水寺でドッグランをつくりペット連れ参拝を可能としたら来訪者が2割ほど増えた上、糞の問題もそれほど気にならないと言っていた。播磨中央公園もあまり心配しなくてもよいのではないか。

(7) 丸山 礼奈 (県立社高等学校) 加東市

- ・グルメフェスの開催を提案する。
- ・コロナ禍で外食を控えている方が多い中、政府が制限緩和や経済回復に向けて取り組んでいるので、その1つとして公園というオープンスペースを活用してイベントを開催することで、より多くの方にコロナ禍の前のにぎわいを味わってほしい。
- ・森のくまさんの閉店などで、公園内で飲食ができる場所が少なくなり、一日を通して遊んでもらうことが難しい。
- ・グルメフェス開催のメリットは、建物の建設費をかけずに毎回違う種類の食事を味わってもらえることや、建物の老朽化に対する改修費用等もかからないことである。
- ・JBCF、全日本実業団自転車競技連盟などの自転車競技大会へのキッチンカーの出店で、レース後の空腹を満たしてもらうことも考えている。
- ・その際、社高校生活科学科の焼き菓子等の販売などを通して、加東市や社高校をPRするとともに、播磨中央公園の活性化に貢献したい。

◇意見交換

○阿江俊英委員

グルメフェスの開催頻度はどう考えているか。

○丸山

年に1回では少ないので、年に3回ぐらい開催したい。

○阿江俊英委員

事業にプラスアルファするということで、はりちゅうの日のうまいもん市、播中あるこうかいなどの事業とコラボしてやれば効果があるのではないか。

○丸山

イベントにプラスアルファすることで、グルメフェスに足を運ぶ方も多くなるし、今後の発展のためにもよい。

○阿江俊英委員

最初はそういう形で始めて、グルメフェスだけで集客できるようになったら、その形にすればよい。

○内藤委員

東京の銀座に出店したマイスター工房八千代などの協力を得て、高校生も一緒になってPRすることができるようになればよい。田舎でやって集客して、焦点を当ててもらうのもよいのではないか。

○丸山

全国に何店舗も出店している方の力を借りて開催できれば、さらに活性化につながる。

○伊藤委員

キッチンカーがブームになっているが、キッチンカーだけでは人は集まりにくいので、いろいろなものとコラボしながらやっていくのがよいのではないか。

北播磨5市1町を1つの商業圏域と捉えて、北播磨地場産業展のようなイベントでマルシェなどを開くといったことも企画してはどうか。若い方の意見を取り入れて播磨中央公園で実践できる場をつくれればよい。

○小南部会長

はりちゅうの日に生活科学科でつくった何かを出したことはあるか。

○吉田委員

ない。

○内藤委員

県の事業として北播磨農と食の祭典が実施されているので、そういう機会も利用すればよい。

○阿江孝仁委員

社高校生活科学科は加東市の事業に多数参加している。加東市の物産フェアを播磨中央公園に持っていきたいと考えているが、イベントがあるときは市と観光協会

が協力し、県からの支援もいただければ、いろいろな人に来てもらえる。

特にキッチンカーが増えており、何かのときには声をかけてほしいと言う方も多いので、収益を上げてもらうことを前提に交代で3台か4台であれば毎週でも活用できるのではないか。いろいろな事業をやりたいが、そのときには社高校の協力をお願いする。

○小南部会長

社高校には、はりちゅうの日などに参加してほしい。

(8) 福本 良之 三田市

- ・播磨中央公園の平日の利用者は、高齢者、乳幼児連れの母親が多く、日曜日にはサッカーや野球を楽しむ方、ファミリー層が多いが、公共施設である公園の大前提は安全・安心でこれなくしては成り立たない。
- ・安全は大丈夫だろうという主観ではなく、客観的に捉えるべきで、想定できる危険に全て対応していくことが必要。これは公園の設置者や管理者に委ねることになる。その安全の下、利用者が主観的に安心を感じる。
- ・安全・安心が確保できたとき初めて心地よい公園、空間になる。
- ・すぐできる具体例としては作業車のヘッドライトを日中も点灯すれば利用者の不安が少なくなる。また、挨拶などの声かけが、見守られているという安心感につながる。
- ・自転車ほとんどいない中をのんびり歩くと、仕事上のアイデアが浮かぶほか、健やかな気持ちになって、嫌なことを忘れる。
- ・Wi-Fiを設置したスペースを考えてはどうか。
- ・作業車をもう少しきれいにして、電車などのようにラッピングしてはどうか。

◇意見交換

○阿江俊英委員

以前、歩いている人同士が挨拶する声かけ運動について話があったが、実現していない。個人的には声かけをしており、最初は不審者に間違われるが、3回か4回繰り返すと相手から話しかけてくれるので、声かけはよいことである。

○内藤委員

三田市から来ているとのことだが、播磨中央公園の魅力を教えてほしい。

○福本

ウォーキングの際、歩きながら注意しなければならないことが少なくなくて、ゆったり歩ける。穏やかなコースとハードなコースを選べるし、距離がちょうどよい。

自然の中で生きていることを実感させる公園というのが一番の魅力である。

○阿江俊英委員

播中あるこうかいは、次回が25回目で、播磨中央公園の中だけでコースを選ぶの

は限界に近づいてきたが、参加者は当初の100人弱から200人以上になり、各地から来ているので、ぜひ参加してほしい。

○内藤委員

安全について話があったが、山であればナンバリングがしてあり、それによって即座に救助に駆けつけることができる。播磨中央公園は広いので、何かあったときのために、ランドマークになるものがあればよい。通報先を示したサインを立てる必要もあるのではないか。

○小南部会長

Wi-Fiの設置場所としてはどの辺がよいか。

○福本

1つ目の案は、既に人工構造物が整備されている駐車場の様な場所に設置する。

2つ目の案は、グランピング施設周辺のような自然の中に設置する。

安全面について補足するが、社高校や兵庫教育大学の学生に協力してもらい、人的資源として活用してはどうか。

○小南部会長

地域の大学との連携ということも書かれているが、どういうことか。

○福本

兵庫県で唯一の教育大学があるので教育実習等と、連携したらどうか。夏休みに播磨中央公園で危険生物の勉強会を行ってはどうか。

○小南部会長

いろいろな場面で、地元の大学や高校との連携を強化していければよい。

福本さんの意見は、高齢の方の視点に立った公園の在り方の指摘だった。

(9) 坂上 恵 加東市

- ・播磨中央公園でお金を落としてもらうための取組について提案する。
- ・グランピングエリアを考えるのであれば、静かな環境である皿池の周辺がよい。ここではガーデンウエディングも可能ではないか。
- ・展望台とファンタジーロードは、前撮りスポットやフォトスポットとして最適。
- ・少しにぎやかな和田ヶ池の周辺は、ドッグランに適しており犬専用エリアにしてもよいのではないか。
- ・桜の園は大型遊具がリニューアルされたが、幼児向け遊具が圧倒的に少なく一日中遊ぶには物足りない。桜のシーズン以外は空いているので、ファミリー層のためここに遊具を新設してほしい。
- ・ぽかぽの周辺は温泉が近くにあることを考慮すれば、オートキャンプ場に適しているのではないか。
- ・明石公園と播磨中央公園では来場者数や交通条件が相当違うことを考えると、森のくまさん跡地で地元の飲食店が通年営業をするのは採算が合わないことや、近

隣に小中一貫校ができることを踏まえて、大手外食チェーン等であれば若者やサラリーマンなどの需要が見込めるのではないか。

- ・シニア層にお金を落としてもらうため、朝の飲食利用や昼のコワーキングスペースとしての利用も考えられる。
- ・土日は、ファミリー層、若者など地元の方が利用するのではないか。

◇意見交換

○吉田委員

都市型公園やファミリー層のことをイメージされているが、播磨中央公園の自然を生かすという意味では賛同できないところがある。ドッグランの候補地は、テニスコート跡もあるので考えていく。

桜の園は遊具を設置する必要はないのではないかと考える。小野市のひまわりの丘公園にあるような遊具は播磨中央公園にはないが、それぞれの公園で役割を分担するのも1つの方法ではないか。

播磨中央公園に今あるものを生かしながら各世代が楽しめるもの、自然を活用して動物達と共存できるものは何かという視点で考えていきたい。提案については、別なところで活用できるように参考にしたい。

○岸本委員

商業ベースで考えるのであればご提案のようになるが、桜の園や四季の森や和田ヶ池は自然を一番残したいところなので、大いに議論すべき。

○坂上

今まで播磨中央公園はジョギングや散歩などの利用でお金を落とさなくてもよかったが、今回リノベーションで民営化するとなれば、来園者にお金を使ってもらわなければならないので、ただのリノベーションではないと思う。

○小南部会長

根本的に発想が違う。

○内藤委員

播磨中央公園のリノベーションは限られた範囲で行うもので、提案のような民営化は考えていない。

公園は公共的なコモンズの部分を担うもので、それぞれの公園に目的がある。赤穂海浜公園は海辺が特徴だが、播磨中央公園は自然環境に特徴があり、洗練された田舎という公園になればよいと考えている。提案は商業ベースなので、コンセプトが異なると考える。

ただ、幼児向け遊具がないのはそのとおりで、大勢の人に楽しんでもらうために幼児対象の遊具は必要である。

○小南部会長

民営化や有料化ではなく、保全と活性化という発想なので、お金を取ってもうけ

るという視点はない。

(10) 末政 実緒 神戸市

- ・マウンテンバイクに関して子どもが集まることができる施設は県内及び近隣にな
いので、マウンテンバイクフィールド案に期待している。
- ・全国には施設が充実しているところもある一方、維持管理が行き届いていないと
か、活用されていないところもあるので、施設設置後の維持管理が重要である。
- ・継続的に活用していく上では、未経験者のためのレンタルバイク店やトラブルに
対応できる施設の併設のほか、技術をレクチャーするレッスンなどのソフト面の
対応も必要になる。
- ・コースやレンタルバイクの整備、修理は専門的知識が必要なので、施設の維持管
理は専門事業者任せにすべきではないか。
- ・子どもにとってマウンテンバイク等の自転車は楽しいもの。自転車に楽しく乗っ
てもらうことで、操作やバランス感覚などが身につく、事故防止にもつながるの
ではないか。
- ・専門的コースを設置し、自転車を思い切り楽しむ子どもが増えるよう、維持管理
も含めて検討してほしい。

◇意見交換

○新保委員

維持管理が行き届いていないとか、活用されていないところがあるとおっしゃっ
ていたが、民間運営なのか、自治体運営なのか。

○末政

自治体運営が多い。常駐の整備士がおらず整備回数等も少ないため、すぐに修理
出来ない自転車もある

○新保委員

民間でうまくいっているところはあるのか。

○末政

ある。中部地区、関東甲信越地区には民間のマウンテンバイクフィールドがあり、
そういうところは施設も充実している。

○新保委員

日本でマウンテンバイクの大きな大会はあるのか。

○末政

たつの市で、クロスカントリーの日本最高峰のレースが行われている。

○新保委員

可能性のある提案である。

○内藤委員

マウンテンバイクはよいスポーツだが、播磨中央公園の中で魅力的なコースを設置できるかどうかは課題である。登山道との関係などを含めて、マウンテンバイク専用コースをつくるスペースがあるのか。ある程度の長さやアップダウンが必要になると思うが、マウンテンバイク経験者に公園内での可能性を調べてもらってはどうか。

○末政

短いコースでも、小さな脇道のセクションを利用して何回も走れるようにすれば、大きなフィールドはなくても可能である。

トラブル防止という意味では専用コースにすべきだが、すごく広いフィールドを必要とするスポーツではない。私も拝見したいので、検討してほしい。

○吉田委員

河高八幡神社の話もあったが、案に上がっているところは、自然保護の観点から反対である。 レンタルサイクルの修理など整備面を考えると、さいくるらんどを整備拠点にすべきではないか。光明寺の五峰山との折り合いはつけなければならぬが、二重に整備場所を設けるのはおかしい。

コースについては、専門の方に聞いて、設置可能であれば検討することにはしてはどうか。整備拠点については別口でつくることには反対である。

○阿江孝仁委員

維持管理は大切である。

観光協会もロードの自転車を貸し出しているが、維持管理費用はもうけを度外視している。

観光協会としてはマウンテンバイクもBMXも面白いツールである。来園者にお金を落としてもらうことが第一だと思っている。

播磨中央公園にしかないものを整備して、全国から人が集まるのが理想で、例えば、ぽかぽの周辺にグランピング施設をつくって、加東市に人を呼び込みたいので、マウンテンバイクコースについても積極的にやってほしい。そうすれば坂上さんの夢がかなうのではないか。

○小野委員

末政さんは、17年連続で全日本チャンピオンという成績を収めているので、マウンテンバイクコースを整備することになったら、アドバイスをもらって、安全で、よいものができればと思う。実現に協力してほしい。

以上